

山行報告書

山行報告提出者：鈴木

山域・山名：東天狗岳 2,646m、硫黄岳 2,760m (長野県茅野市)	
入山日：令和1年12月7-8日 (土-日) 1泊2日 帰宅日12月8日	
プラン担当者 正：鈴木 副：硫黄岳の爆裂壁	
参加者	L：報：記：鈴木 (単独行) 男1名、女名、計1名
	天候：12月7日 曇り 稜線は風あり 12月8日 晴れ 風弱い
12月7日 (土)	07:00 新宿発JRスーパーあずさ1号にて茅野駅 9:08 下車 9:20 バスで渋の湯まで、10:20 渋の湯発—12:40 黒百合ヒュッテ—14:00 天狗岳—15:10 根石山荘 (テント泊) 行動：4h50m
12月8日 (日)	05:30 起床—07:00 根石山荘発—07:40 夏沢峠—9:00 硫黄岳—10:50 赤岳鉱泉—12:40 美濃戸—13:40 美濃戸口 バスで茅野駅経由JRで帰宅 行動：6h40m
荒天候時のエスケープルート：その場で引き返す、営業小屋 (黒百合、行者) に避難。	
装備と食糧	共同装備：なし 共同食：なし 車提供者：なし
	個人装備：テント一式 (要外張り)、ストーブ (寒冷用ガス含)、クッカー、ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、替衣類、シュラフ、エア (銀) マット、水、帽子 (目出帽)、冬グローブ、スパッツ、ストック、ピッケル、アイゼン、わかん、スコップ、携帯トイレ、 個人食：食事×4 プラス予備食、行動食
感想	登山口から雪はなくアイゼン無しで歩いたが、後半凍結箇所が多々現れ黒百合ヒュッテ手前でアイゼンを装着する。中山峠からの稜線は風が強くフードを被ったが歩きにくいほどではない。根石山荘は冬季無人だが、予想通り風が強く風下の軒先を借りて一人テントで一夜を明かした。 翌日は朝から快晴、前日は疲労のため夕食中に足がつり困惑したが、今日も疲労が抜けていない。早々に頭を切り替え、当初予定の横岳までの縦走を硫黄岳までにすることを決める。壮大な硫黄岳の爆裂壁を見ながら登るが、休み休みのため中々頂上が見えない。 やっと頂上に立つと横岳・赤岳の稜線はもとより遠く北アルプスも臨める眺望が得られ、満足感に浸りながら重い足を下山へ向かわせた。赤岳鉱泉からの北沢は修復された橋が数多く見られ、昨年の台風被害からの復興が感じられた。